

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	トイロ天王町		
○保護者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2026年1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61	(回答者数) 49
○従業者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2026年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフ間、事業所—保護者間での情報共有、支援の方針や取り組みへの理解、満足	送迎時の申し送りで事務的な内容のみでなく、一人一人のスタッフがその児童への思い入れがきちんと伝わる話し方を行っていること。日々のメッセージ、電話などのやり取りで丁寧な伝え方を心掛けられていること。 スタッフ間で具に児童情報の共有が行われていること。	専門性、障害理解の知識的な部分での理解度をスタッフ全体で深めることで、伝達の内容の満足度向上を図る。
2	放課後等デイサービスの仕組み、報酬、加算などに対するスタッフの理解度、保護者の理解度	一つ一つの説明を、伝えるべきレベルを意識して妥協せずに伝えている、加算や単位などのところは説明の必要なタイミングを逃さずに伝えるようにしていること。	新規利用者には引き続き丁寧な説明を行うとともに、スタッフの理解度は折に触れ少しずつ向上を図っていく。
3	活動内容の多用さ、ひとつひとつの満足度	イベントカレンダーの内容を毎月別のスタッフが策定、その際にスタッフ間での協議も行い、マンネリ化を防いでいる。	保護者より要望のあった休み時平日の外出などを検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員不足により、利用人数に比してスタッフの数が足りない状況が発生している	運営会社、人事上の都合から人員の補充がすぐになされないこと。	人事部門への要望、状況確認を具に行うとともに、人が比較的少ない状況でも事故やトラブルが抑えられるよう日々危険予測、ヒヤリハットの共有などで安全管理意識を維持、向上していく。
2	利用人数に比してスペースが狭いと感じられる	教室内のレイアウト、カーテンの使用によるスペース狭窄感。	利用人数が多い日は机の位置や児童の過ごすスペースの位置関係を意識しなおし、狭く感じることを無い運営を目指していく。
3	地域の子どもたちとの交流	週末のプログラムは事前に決定していて、地域とのかかわりの企画を入れ込む余地を作っていなかったこと。	地域の福祉イベントやお祭りなどの予定を確認し、利用児童の参加ができそうなところがあるかを検討する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 トイロ天王町

公表日 2026年 3月 10日

利用児童
数 69

回収数 49

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32	11		6	利用児童が増え、少し狭く感じている	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	36	5		8	一人送迎の時もある	人が比較的少ない状況でも事故やトラブルが抑えられるよう日々危険予測、安全管理意識を維持、向上していく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	36	5		8		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	35	7		7	送迎車の足元に荷物を置くのが気になる 床のマットに座る部屋とテーブル+椅子の部屋を別々にしてほしい	満車時は致し方ないが、座席が空いている時は荷物は座席に置く 児童に応じて相談室の利用頻度を増やす
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	41	7	1		本人の特性に合わせて接してくれている 切り替えの悪さを理解して対応してくれている もう少しあると望ましい	専門性と個々の児童への支援のつながりをもう少し意識して支援にあたるよう スタッフ間で意識共有
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	44	3	1	1	色々発見できることもあり、ありがたい	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	46	2		1	個別支援計画に満足している とても理解してくれていると思う	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	43	5		1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	46	3			コミュニケーションの部分でフォローしてくださり安心している	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	47	2			色んなプログラムがあり毎月楽しみにしている 長期休みに平日の外出イベントを実施してほしい	次期8月のイベント策定時に検討
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14	8	8	19	特に必要はないと感じる 公園イベントの時はあるのかも？	
保護者へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	49				とても丁寧にいただいた	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	46	3			とても丁寧にいただいた	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	33	4	2	10	研修会はないが親も参加できる行事があるので様子は見られる	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	46	3			送迎の時お話しやすい、何でも話しやすい 送迎時、アプリの報告でできている	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	44	4	1		送迎時の会話でできている	
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	45	2		2			

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	26	9	2	12	参加はできていないが、交流の場を何回も設けてもらっている きょうだい向けのイベントはわからない	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	42	4		3	対応していただいています。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	45	2		2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	43	2		4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	44	4		1	学校の予定表を危機管理の観点から慎重に扱うように言われている	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	42	3		4	避難訓練に落ちついて参加できるようになってきていて、落ち着いて行動できるように安心している 何回も訓練してくれている	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	44	2		3		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	40	6		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	41	1		7		
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	45	4			心配でいっている日はない	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	42	4	3		いつも楽しみにしています 調理イベントを特に楽しみにしている	
	29	事業所の支援に満足していますか。	47	2			とても満足しています、これからもよろしくお願いします	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		トイロ天王町		公表日		2026年 3月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	2	テーブルの配置を必ず同じところに置いている	日によって狭く感じる日があるが仕方ないとも思う 室内カーテンが半端な状態となっている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	4		足りていないと感じる日が多々ある 一人一人に接する時間がないため、メンバー増加希望	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1		トイレに手すりを設置したい カーテン、おもちゃ棚の整理を工夫したい	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		おもちゃ棚、本棚等、わかりやすくし、取り出しやすいようにしている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	1	個人ごとの目標設定をしている	指示はもらうが振り返りが無い→振り返りがあると良い	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		職員会議にて行われている	声の大きい職員の意見が通る印象がある	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10		品質管理対策を取る日を設定している		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10				
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		モニタリング後に児童情報の共有を行っている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10			ケア記録以外に複数のフォーマットがあり、もう少しまとめてもらいたいと感じる	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10				

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている か。	10			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を 行っているか。	10		毎日昼礼の実施	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		終礼の実施	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改 善につなげているか。	9	1	ケア記録の目標設定が二つで内容も適切、 わかりやすい	徹底的と言われるとできていない部分もある
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見 直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複 数組み合わせる支援を行っているか。	9	1		4つの基本活動の内容を把握できていない →共有を深めていく
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自 己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会 議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	9	1	ショートステイと連携して支援することが ある	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下 校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っているか。	10			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発 達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	2		就学前のつながりは不足していると感じる
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事 業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供す る等しているか。	9	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	2	児童部会に参加、各所の話を聞いている 相談支援員とのやり取り	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活 動する機会があるか。	5	5		地域の子供とのかかわりは稀。人員が増え れば実施できるかも
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状 況や課題について共通理解を持っているか。	10			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ ログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる 研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	1	保護者開放日の実施	「こういう方法もある」という提案でなく保護者に 意見を求めずこちらのアイデアを始めてしまうこと に疑問がある→保護者意見を取り入れたい	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明 を行っているか。	10		一般スタッフの認識が甘くても拠点長が フォローして下さる		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10		ブログの発信	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			書庫のカギの締め忘れに気を付けたい
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	4		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10			内容の更新が久しく行われていない
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		家具転倒防止器具を設置している	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			研修時間を確保、対応している
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10			